

コース名

河北省の歴史文化、自然風光と民族風情を訪ねる旅

青島/邯鄲/石家荘/天津/秦皇島/承德/北京

2011年7月8日(金)~7月17日(日) 10日間

NO.	日にち	発着地	交通機関	発着時間	観光内容
1	7/8 (金)	名古屋 青島	MU744 専用車	7:00 9:00 10:50	<p>中部国際空港にご集合下さい。</p> <p>中国東方航空にて膠東半島にある美しい海浜都市“青島”へ。</p> <p>着後、日本語ガイドがお出迎えます。</p> <p>青島市内観光： ○信号山公園の展望タワーよりエキゾチックな街並みを一望します。 ○風光明媚な八大関景区へ。 ○ロマンティックな洋館“花石楼”と海岸沿い散策など。</p> <p>夕食は海鮮料理をお楽しみ下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> 朝 <input checked="" type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夕</p> <p style="text-align: right;">【青島国敦大酒店 泊】</p>
2	7/9 (土)	青島 済南 邯鄲	高速列車 専用車	8:25 10:50	<p>朝食後、中国版新幹線【D6002】にて山東省の省都“済南”へ</p> <p>中国式の新幹線を体験しながら、車窓の景色をお楽しみ下さい。</p> <p>済南着後、市内レストランにてご昼食。</p> <p>その後、専用車にて戦国時代の趙の都“邯鄲”へ(約3.5時間)</p> <p>移動中のバスの中でもゆったりおくつろぎ下さい。</p> <p>邯鄲は春秋時代から3000年余りの歴史を持ち、有名な成語典故の町であり、よく“古文化博物館”とも呼ばれます。</p> <p>邯鄲着後、観光： ○一炊の夢で有名な黄梁の夢 ○趙の武霊王が兵馬訓練や歌舞鑑賞のために築いた叢台“武霊の関兵台”、“武霊叢台”など</p> <p><input type="checkbox"/> 朝 <input checked="" type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夕</p> <p style="text-align: right;">【邯鄲賓館 泊】</p>
3	7/10 (日)	邯鄲 石家荘	専用車		<p>邯鄲の周辺へ観光</p> <p>○北齊時代に創建された響堂山石窟</p> <p>○東魏、北齊の都であった鄴城遺跡(銅雀台、金鳳台、氷井台)</p> <p>※曹植がここで「七步詩」を作った所</p> <p>○趙の都であった邯鄲古城では趙王城の城郭、宮殿遺跡など</p> <p>見学後、専用車にて河北省の省都“石家荘”へ</p> <p>夕食は石家荘にて本場の「羊のしゃぶしゃぶ」をご賞味下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> 朝 <input checked="" type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夕</p> <p style="text-align: right;">【石家荘燕山大酒店 泊】</p>

NO.	日にち	発着地	交通機関	発着時間	観光内容
4	7/11 (月)	石家荘  天津	専用車		<p>歴史上古い名城“石家荘”の周辺へ観光：  ○韓信の「背水の陣」で有名な古戦場遺跡  ○1400年前の隋の時代に中国一の青銅、高さ22mの大悲菩薩像で知られる有名な“隆興寺”  ○仏教臨済宗の発祥地“臨済寺”  ○歴史上「畿内名刹」、「古仏道場」と称された柏林禪寺  ○1400年前、隋の時代に造ったアーチ型の天下第一橋“安済橋”(「安済橋」は「趙州橋」とも呼ばれている)見学など。  ○三国志の英傑“趙雲”を祭った趙雲廟など  その後、専用車にて中国の4つの直轄都市の一つ“天津”へ(約3.5時間)  天津着後、市内観光：  ○租界の名残を残す洋館散策など(天津はかつて9つの国の租借地区でした。代表的な欧風建築が色々あり、エキゾチックな風景が残っています。)  夕食は天津名物「狗不理包子」をお楽しみ下さい。  朝 昼 夕 <span style="float:right">【天津天宇大酒店 泊】</span></p>
5	7/12 (火)	天津 秦皇島	専用車		<p>朝食後、専用車にて優れた海浜観光都市“秦皇島”へ(約3.5時間)  着後、夏の避暑地として知られる秦皇島観光：  明軍の要塞基地として役割を果たした  ○長城の最東端の関所世界遺産“山海関”  北は燕山を控え、南は渤海に臨み、山と海の間で雄々しく構えているため“山海関”と呼ばれている。“天下第一関”とも称され、楼上からは山間をうねりながら延びる長城が一望できます。  ○長城が海に延びた所“老龍頭”  万里長城の東端の関所は山海関ですが、本当の端はそこから東南へ約5kmの渤海に面した「老龍頭」になります。  ○万代に芳名を伝える“孟姜女廟”など  夕食は秦皇島料理。  朝 昼 夕 <span style="float:right">【秦皇島国際飯店 泊】</span></p>
6	7/13 (水)	九門口 潘家口 金山嶺	専用車  遊覧船 専用車		<p>午前、長城の峰が絵のように山や川を横断して西へ。  途中、世界遺産“九門口長城”観光。明代の重要な関所の一つで9つの水門があることから名づけられました。  その後、城壁の一部が湖中に没している珍しい長城“潘家口長城”へ  着後、遊覧船に乗って世界遺産“潘家口長城”観光。  午後、専用車に乗って世界遺産“金山嶺長城”へ。  夕食は金山嶺料理。  朝 昼 夕 <span style="float:right">【金山嶺金山賓館 泊】</span></p>
7	7/14 (木)	承德	専用車		<p>モンゴル軍の侵入防止のために修築した世界遺産“金山嶺長城”観光：  ○ロープウェイにて長城を上ります。山が険しく尾根が複雑に入り組んでいるため城壁は尾根伝いを峰から峰へまるで山々のたてがみの様に延々と連なってはるか遠くの峰々まで続きます。“第2の八達嶺”とも言われる壮大な眺望をお楽しみ下さい。  観光後、第2の都とも言われた皇帝たちのリゾート世界遺産“承德”へ。  着後、世界遺産“避暑山荘”観光：  避暑山荘は清朝の夏の離宮で現存する中国最大の皇室御苑です。  内部は素朴で山水の自然な姿が生かされた造りになっています。  朝 昼 夕 <span style="float:right">【承德雲山飯店 泊】</span></p>

NO.	日にち	発着地	交通機関	発着時間	観光内容
8	7/15 (金)	承德  北京	専用車		<p><b>世界遺産“承德”の外八廟</b>観光</p> <p>○外八廟は清の康熙、雍正、乾隆など三皇帝が『内外の心を合わせ、強国の業をなす』の目的でこの避暑山荘に隣接するチベット寺院群を建てました。今回は特に有名な○“<b>普寧寺</b>”(世界最大の千手観音菩薩が安置されています。)俗称「園亭子」と呼ばれている○“<b>普樂寺</b>”と○“<b>普陀宗乘之廟</b>”(小ポタラ宮と呼ばれています)を見学します。</p> <p>その後、専用車にて首都“<b>北京</b>”へ。</p> <p>着後、北京市民の生活に触れられる人気スポットの“<b>後海</b>”散策。</p> <p>夕食は老北京の名物『全聚徳』にて本場の「北京ダック」をご賞味下さい。</p> <p>【朝 昼 夕】<span style="float:right">【北京江西大酒店 泊】</span></p>
9	7/16 (土)	北京  涿州 北京	専用車		<p>朝食後、専用車にて中国に現存する規模が最も大きく最も完全に保存されている皇室の陵墓群、<b>世界遺産“清の西陵”</b>へ。</p> <p>着後、清の皇室の<b>西陵墓群</b>観光： ○雍正皇帝の<b>泰陵</b> ○光緒帝の<b>崇陵</b> ○<b>大紅門</b>と<b>参道</b>など</p> <p>観光後、北京へ戻ります。</p> <p>夕食は古の北京の雰囲気再現したレストラン『老北京炸醬麵大王』にて老北京名物「<b>ジャージャン麵</b>」と北京料理をどうぞ</p> <p>【朝 昼 夕】<span style="float:right">【北京江西大酒店 泊】</span></p>
10	7/17 (日)	北京  名古屋	地下鉄  専用車 MU743	15:20 20:50	<p>出発まで<b>北京市内</b>観光： ○地下鉄に乗って前門駅へ。 下町情緒溢れる<b>前門大街</b>、<b>大柵欄</b>を散策。 ○玉淵潭公園から遊覧船に乗って運河クルーズ、<b>頤和園</b>へ。(約45分) 遊覧船に乗りながら北京の街並みを楽しみます。 ○オリンピックの熱戦の舞台となったメインスタジアム“<b>鳥の巣</b>”と水泳競技場“<b>水立方</b>”など。(外観見学のみ、入場いたしません)</p> <p>昼食後、北京空港へ。</p> <p>中国東方航空にて帰国の途へ。</p> <p>中部国際空港着後、解散。 ～お疲れ様でした！！～</p> <p>【朝 昼 機】</p>

※フライトスケジュールは予告なく変更される場合がございます。また、現地事情によりツアーの食事や観光順路を変更させていただく場合がございます。ご了承下さい。



**AKツアー 株式会社 愛知華友**

〒464-0850 名古屋市千種区今池三丁目12-20 KAビル7F

TEL:052-733-0091 FAX:052-733-0134